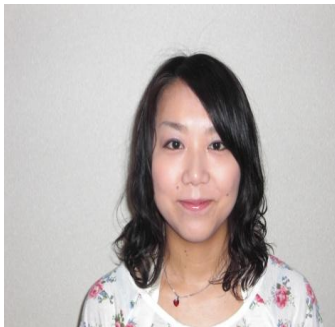




新年度スタート

☆新人言語聴覚士の紹介

新人 ST の声をご紹介します。



本田 歩己 先生（青照館卒）
熊本県こども総合療育センター勤務

私が言語聴覚士を目指したのは、コミュニケーションをとることが難しい子どもと出会ったことがきっかけです。その子の家に遊びに行くうちに言語聴覚士という仕事を知りました。また、持っている能力でできることを見つけてコミュニケーションをとっていると教えていただきました。周囲と関わることによる子どもの目の輝きと保護者の笑顔を見たとき、言語聴覚士はとても素晴らしい職業だと思いました。

今は期待と不安でいっぱいです。しかし、今までに出会った子どもの目の輝きや笑顔を忘れず、何事にも一生懸命に取り組んでいきたいです。また、障害だけに捉われるのでは

なく、その子の持つ能力や周りの環境を的確に捉え、今後のどうなっていきたいのかという展望を持って接することができたらと思います。これからも初心を忘れず、経験を積みながら、向上心を持って学び、多くの方の笑顔をたくさん引き出せるような言語聴覚士になりたいです。



<写真中央>

村尾 綾美 先生（青照館卒）
悠紀会病院勤務

今年3月に卒業し、4月から悠紀会病院で言語聴覚士をしている村尾綾美です。

私が言語聴覚士を知ったのは、高校生の時に脳出血で倒れた祖母がSTによる嚥下訓練を受けていたことがきっかけでした。食べるのが大好きだったのに何も食べることができなくなった祖母が3ヶ月後にはご飯を1人で食べられるようになり嬉しさに涙していた姿に衝撃を受け、リハビリはこんなに人を幸せにすることができるのだと魅力を感じました。

それから5年、今STとしてあの時の祖母と同じような患者さん達と向き合っている自

分がいます。私は患者さんにずっと笑顔でいてもらえるよう自分自身も常に笑顔で明るく元気で在りたいと思います。時には患者さんの抱える悩みを共有できる家族や親友のようなSTになりたいとも思っています。

臨床の場にたった今、不安なことばかりですが、個性豊かな患者様の反応に一喜一憂しながら、また先輩方の叱咤激励を受け緊張しながらも毎日楽しく過ごしているところです。

すでに他界しましたが、これからの人生の生き甲斐となるSTという仕事に出会わせてくれた祖母にとっても感謝しています。

まだまだ未熟者ですが、胸を張って「私はSTです!!」と言えるように、また「とても楽しく働いています」とみんなに自慢出来るようこれから一生懸命楽しく頑張っていこうと思います。

[東部ブロック報告]

昨年度末は当ブロック各施設の先生方にはアンケート調査にご協力いただきましてありがとうございました。今年度はこのアンケート結果を参考に年3回、新人症例検討会・学会研修会報告等の勉強会の開催を計画しております。今年度もどうぞ宜しくお願いいたします。

熊本リハビリテーション病院 山本由佳

[中部ブロック報告]

昨年度中は、県士会、ブロック会の活動にご尽力頂き誠にありがとうございました。皆様のおかげで力不足ながら一年間ブロック長を務めることができました。今年度は、林先生に引き継がせて頂くこととなり大変心強く思っております。今後とも各御施設、言語聴覚士会全体の発展の為、ご協力の程よろしくお願い致します。

東野病院 吉松亜矢子

★それでは、新しくブロック長をお引き受けいただいた林先生より一言★

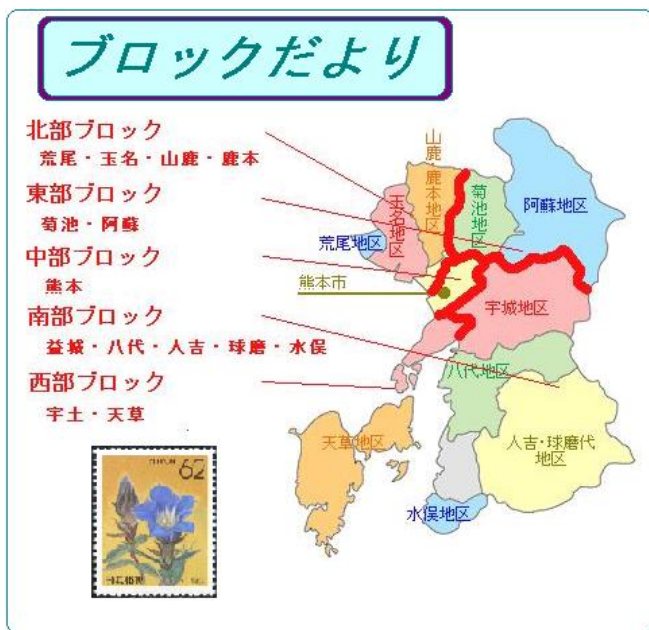
今年度の中部ブロック長をさせていただきます御幸病院の林亜星です。今年度は中部ブロック勉強会等を通し、会員の皆様と親睦を深めていきたいと思っております。まだまだ若輩者で分からないことだらけではありますが、県士会活動を通して私自身も成長できるよう頑張ってみますので、どうぞよろしくお願い致します。

また、毎年恒例の飲み会も企画いたしますので、皆さん是非ご参加ください！

御幸病院 林 亜星

[南部ブロック報告]

南部ブロックでは、2月27～28日の2日間にわたり、道関京子先生を講師にお招きし『全体構造法』についての研修会を行いました。各ブロックから多くの先生方、また県外からも参加していただきました。今後の臨床に役立つ貴重なお話だったと思います。今年度も、年4回の勉強会と、外部講師をお招きして1回は講演会を行いたいと思っております。今



[北部ブロック報告]

北部ブロックの今年度の予定は現在のところ未定です。今年度より北部ブロック長が交替します。約2年間北部ブロック長を経験させていただき、ありがとうございました。今後は、事業部部長として経験を活かしてがんばっていきます。今後とも宜しくお願いします。

悠紀会病院 山本 恵仙

後とも宜しくお願いいたします。今年度より、ブロック長を中村先生より引き継ぎました。私は、小児の施設なので、成人の臨床についてよくわかっていないので、ご迷惑をおかけすることが多いかと思いますが、ブロック内の先生方はじめ、ブロック外の先生方もよろしくご指導いただきますようお願いいたします。

熊本県こども総合療育センター 森田 朋子

[西部ブロック報告]

3月26日にニュー天草病院にて、西部ブロック勉強会を開催しました。

今回は、天草慈恵病院の武井先生に議題を出していただき、日常業務における様々な疑問点を出し合い、解決の糸口を見つけるといった話し合いの機会となりました。1人職場の所は普段の業務で疑問に思うことをなかなか相談する機会がないと思われませんが、今回のような場を持つことで、いろんな意見をお聞きし新たな発見などもあり、有意義な時間となりました。今後もこのような普段疑問に思っていることを話し合うような機会を持てればと思いました。

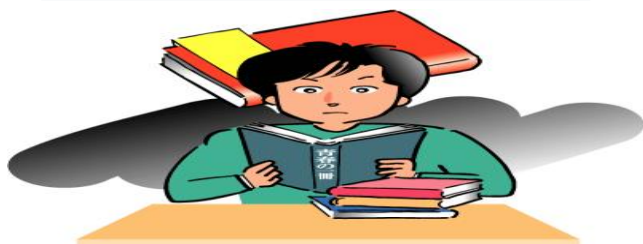
今後の活動予定

4月23日天草リハビリテーション研究会(PT、OT、ST) 新人歓迎会に池田が出席予定。

6月西部ブロック研究会を開催予定(みすみ済生会病院の予定)

楽洋の里 池田 聖司

書籍紹介



【自閉症スペクトラム SST スタートブック】 チームで進める社会性とコミュニケーションの支援

- ・発行年月：2010年3月
 - ・ISBN:978-4-7614-0729-2
 - ・学苑社：2100円
 - ・楽しくできる SST サークルの作り方
- 実際に行なっているチーム支援をもとに、自閉症スペクトラム障がい(ASD)の子どもたちが、学校などの生活場面で社会的な行動を獲得できるようになるための指導プログラムを紹介します。指導場面の作り方から指導内容の組み立て方までをセットにした SST 初心者にとって最適な1冊です。



【顔面神経麻痺のリハビリテーション】

- ・発行年月：2010年5月
- ・ISBN978-4-263-21352-0
- ・医歯薬出版：7000円
- ・顔面神経麻痺の治療では、早期に正確な診断を行い、適切なリハビリテーションを実施して後遺症

の予防・軽減をはかる必要があり、そのために求められる知識、評価・検査法、急性期・慢性期のリハビリテーション方法を紹介している。

理事会議事録



第1回理事会

日時：2010年1月8日（19：00～）

場所：菊南病院

出席者：小菌、三浦、丸内、山本（由）、下田、池田、小堀、森崎、後藤、森田、吉松、山本（恵）、兼田、大塚、宮本

書記：宮本

1. 報告事項

1) 第3回熊本医療・保健・福祉連携学会開催報告（小菌会長・大津理事）

PT協会・OT協会・歯科衛生士協会・ケアマネージャー協会とともにシンポジウム実施

次回は平成23年2月13日実施予定

参加およびスタッフは年毎の交替制にしてはどうか？（大塚理事）

2) 熊本訪問リハビリテーション研修協議会

（小菌会長・森崎理事）

言語聴覚士会から11名の申し込み

ST会の拠出金 5万円

3) 熊本県高次脳機能障害検討委員会報告

（小菌会長）

年3回委員会開催 会長 池田学先生

4/19検討会予定

4) 日本言語聴覚士協会審議員就任報告

（小菌会長）

今年度から就任

5) 協会設立十周年ならびに法人設立記念祝賀会
[4月20日会費1万円]（小菌会長）

6) 平成22年度「言語聴覚の日」開催補助金50万円（小菌会長）

昨年秋→今まで東京で行ってきたが、各地で行ってもらえないかとの打診あり

今年度は熊本県と高知県で開催予定

2. 検討事項

1) 新年度理事、ブロック長、部局長確認

① 理事変更

重川理事、中村ブロック長→退任

吉松ブロック長（東野病院）→理事へ

② ブロック長変更

東部副ブロック長 池田 ST（熊本セントラル病院）

南部ブロック長 森田理事（熊本県こども総合療育センター）

北部ブロック長 検討中

中央ブロック長 林理事（御幸病院）・副ブロック長 榎田 ST（御幸病院）

③ 局長変更

事業部 重川理事より山本理事へ（悠紀会病院）

次長 飯村 ST（北部脳神経外科・神経内科）（その他6名）

2) 総会の件

日時：平成22年5月30日

講演：深浦会長「日本言語聴覚士協会の活動と地域とのかかわり」

その他：4月下旬までに活動報告および活動方針を各部長・ブロック長から事務局へ連絡する

3) 年間活動の検討

今年度は研修会や勉強会が重ならないように各部局の予定は早めに計画を立てて報告するようにする

4) 予算案の検討

3. 各部局報告

1) 財務部（三浦副会長）

2009年度決算報告および2010年度予算案報告

熊本県言語聴覚士会設立10周年記念式典および祝賀会収支決算報告

*今年度の予算案に付け加えるもの

- ①地域連携パス会議参加の交通費
 - ②シルバーサポートネットの活動補助金→概算を出して三浦副会長に報告(4月末迄)
 - ③失語症会話パートナーの活動補助金→概算を出して三浦副会長に報告(4月末迄)
 - ④子どもサポートネット→一昨年作成した小児の手引書を更新費用→概算を出して三浦副会長に報告(4月末迄)
 - ⑤ 事業部活動補助金と玉名市民健康福祉フェア活動費を合わせる
 - ⑥ 熊本訪問リハビリテーション研修協議会の拠出金5万円
- 会に確認し三浦副会長に報告(4月末)

2) 学術研修部(下田理事)

- ・平成21年度活動報告・会計報告
- ・平成22年度活動計画・予算計画

平成21年度 学術研修部 活動報告

開催日	会場	催し	講師
7月5日	パレア	JAS 生涯学習プログラム(基礎講座)	講師:小菌 会長 講師:宮本 理事 講師:兼田 理事
12月1日	九州保健科学大学	学術研究発表会	演題:「発達性読み書き障がい」 講師:宇野 彰 先生(筑波大学)
2月14日	駅前リハ	JAS 生涯学習プログラム(専門・基礎講座)	演題:「失語症以外の高次脳機能障害」

ビ
リ
テ
ー
シ
ョ
ン
学
院

講師:佐藤 睦子 先生
(南東北病院)

平成21年度 会計報告

収入		支出	
平成21年度繰越金	118,047	講師謝礼金	95,000
部費	60,000	部員交通費	77,000
7月研修会参加費	64,000	会場費	12,870
12月研修会参加費	98,000	打ち合わせ会	99,743
2月研修会参加費	222,500	お茶代	2,597
JAS 補助金	50,000	コピー用紙	4,647
		垂れ幕	9,000
		文具	3,441
		通信費	4,820
		おみやげ	3,000
		講師交通費・宿泊費	77,500
		雑費	1,369
合計	612,547	合計	390,987
		収入-支出	221,560

平成22年度活動計画

	催し
①	生涯学習プログラム(基礎講座)
②	生涯学習プログラム(専門講座)
③	学術研究発表会
④	特別講演

- ① ら④の組み合わせを検討し開催する

平成22年度 予算計画

収 入		支 出	
項 目	金 額	項 目	金 額
平成21年度繰越金	221,560	会場費	30,000
平成22年度学術研修部 部費	60,000	通信費	5,000
平成22年度JASより補 助金	50,000	講師謝礼	100,000
研修会会費(基礎講座)	40,000	講師交通費	80,000
研修会会費(研究発表)	80,000	垂れ幕	10,000
		研修部交通 費	80,000
		文具	5,000
		その他	15,000
計	451,560	計	325,000
		繰越(収入－ 支出)	126,560

・県外からの受講者は会費を上げてみてはどうか
(山本恵仙理事)

3) 広報部

高校への広報活動の取り組み

4月 高校訪問リスト化

5月 出身高校を中心に訪問開始予定

4) その他部局

特になし

2. 各ブロック報告

東部ブロック

特になし

西部ブロック

特になし

南部ブロック

勉強会を6月より開始

北部ブロック

特になし

中央ブロック

特になし

3. その他

1) 林理事

熊本訪問リハビリテーション研修協議会研修
会の研修スライドを作成中

2) 山本理事

<地域連携パス分科会摂食嚥下ユニットパスに
ついての報告>

2010年度 地域連携パス ST部門 活動計画案

地域連携パス担当者： 阿蘇立野病院 田代晃子
熊本赤十字病院 池寄寛人
熊本セントラル病院 池田健吾
くまもと成仁病院 内田智香
熊本リハビリテーション病院
小田原守 山本由佳

<今年度目標>

連携パス(食リハケアパス)本稼動 8月

日本摂食・嚥下リハ学会発表 9月

その他 連携パス運用状況確認
(データの集計及び検証 等)

<計画>

学会発表にむけてのST部門ミーティング 3回

連携パス本稼動にむけての全体会議 3回

<活動費>

ST部門ミーティング及び連携パス全体会議数 約6回程度

交通費 市内 500円 ×5人×6回=15000

阿蘇 1000円 ×1人×6回=6000

雑費 資料等 9000

計 30,000

3) 兼田理事

<シルバーサポートネットの活動報告>

1. 平成21年度の活動内容

①H21. 6. 13~14 全国言語聴覚学会 in 岡山にて

「熊本STシルバーサポートネット立ち上げについて」の
発表

②H21. 8. 8 機能病院 地域交流館にて

第3回熊本STシルバーサポートネット勉強会実施

内容

- 1、熊本県内の介護保険領域に携わるSTの実態調査報告
- 2、「介護保険について ～保険改正及び今後の動向について等～」

講師 介護老人保健施設 清雅苑 副施設長
野尻晋一先生

参加者 37名

- ③H22. 2.20 朝日野総合病院さんぽーるにて
第4回熊本STシルバーサポートネット勉強会実施
内容

- 1、活動報告「訪問リハにおける地域連携の重要性とその方法」
御幸病院 林 亜星先生
- 2、活動報告「当法人における嚥下障害に対する意識調査」
北部脳神経・神経内科 飯村 知己先生

茶話会

参加者 24名

- ④県内の介護保険領域に関わるSTがいる施設一覧をホームページにアップしてもらう。

- ⑤H22. 3. 14 医療・保健・福祉連携学会にて
介護保険領域のSTをPRするパンフレットを作成し、配布する。

2. 会計報告

<収入>

昨年度残高 6,245 円

県士会より活動費 45,000 円

第1回勉強会参加費 27,500 円

計 78,745 円

<支出>

第1回勉強会打ち合わせ費・菓子代 24,000 円

第1回勉強会講師費 10,000 円

第2回勉強会打ち合わせ費・菓子代 4,979 円

スタッフ交通費 18,000 円

円

計 56,979 円

円

(収入) - (支出) = 78,745 円 - 56,979 円 = 残高

21,766 円

4) 小堀理事

<くまもとST・こどもサポートNET 活動報告>

1 平成21年度 くまもとST・こどもサポートNET 活動報告

開催日	会場	内容	講師 発表者	備考
5/30	パレア	発達障害を持つ子どもの特性の理解	熊本市子ども発達支援センター 下田祐輝先生	
7/25	パレア	現在の特別支援教育	熊本県立教育センター 主幹兼教育相談室長 西川高光先生	
9/26	パレア	専門機関との連携	くまもと発育クリニック 山岡友帆先生	
11/29	熊本駅前看護リハビリテーション学院	小児の聴覚・言語指導者連絡会 くまもとSTこどもサポートNET 合同勉強会 「ことばやコミュニケーションの発達を支援するSTの役割」	子どもの発達支援を考えるSTの会代表 中川信子先生	
1/30	熊本駅前看護リハビリテーション学院	桜十字病院での小児療育の取り組み	桜十字病院 齋藤香津子先生	
3/25		茶話会	運営委員	

役割	委員	内容
顧問	小 園 真知子	統括
代表	栗 林 かほり	茶話会司会（構成メンバーへの案内・議事の 取りまとめ） 文書作成管理等 その他
副代 表	小 堀 晶 弘	県士会理事会及び県士会渉外部との連携
会計	田 中 総 子	会計費管理（謝金、会場費、印刷代、備品購 入） 受付（必要時） 消耗品購入（講師お茶など） 会計報告書の作成
定例 会	各月担 当者 宮川、 田中、 齊藤、 久 池 井、新、 下田、 田代、 小堀、 栗 林 （によ り 輪 番）	講師・発表者との連絡調整 定例会案内文作成 事務局（青照館 松原先生）に案内文送信依 頼メール matsubara@seishoukan.ac.jp 広報部（宇賀岳病院平ノ上先生）に県士会 HP 掲載依頼メール ugadakehp_st@yahoo.co.jp 会場予約 当日会場準備 司会 講師にお礼状
小児 言語 聴覚 療法 開設 の手 引き	下田・ 久池井 田代	改訂作業

（H22年度 子どもサポート運営委員役割分担）

2 平成21年度 くまもとST・子どもサポートNET 会計報告

収 入		支 出	
項 目	金 額	項 目	金 額
平成20年度繰越金	24,828円	会場費	14,490円
平成21年度県士会 より運営費	30,000円	講師謝礼	6,000円
研修会会費	19,000円	合同研修会 費(11/29)	20,510円
		雑費	994円
計	73,828円	計	57,994円
		繰越（収入 －支出）	15,834円

3 運営委員

顧問	小園 真知子	
代表	栗林 かほり	
副代表	小堀 晶弘	
会計	田中 総子	
運営委員	下田 祐輝	田代 裕一郎
	久池井 朋子	齊藤 香津子
	新 玉緒	宮川 可織

4 平成22年度活動計画(案)

開催日	内容	定例会担当者	会場
5/22		宇賀岳病院	パレア or 熊本駅前看護リハビリテーション学院 or 熊本保健科学大学
7/24		熊本リハビリテーション病院	同上
9/25		桜十字病院	同上
11/27		江南病院	同上
1/29		熊本市子ども発達支援センター	同上
3/26	茶話会	運営委員	同上

*内容は・・・

- ・小藺先生「吃音について(仮)」
- ・外部講師「成人になってアスペルガーと診断された方の講演」
- ・摂食嚥下について
- ・言語聴覚の日のイベント(7月)
- ・機能性構音障害について

などなどです。

5 平成22年度収支予定

参加費 500円徴収(会場費)

講師に印刷代として 3,000円渡す(特別講師以外)

※ メーリングリストを用いて、随時、情報交換を行う。

5) 森崎理事

訪問リハ研修協議会の活動報告と研修の申し込み案内について

7) 失語症会話パートナー活動報告

(橋本ST: 菊南病院)

【3月29日のメンバーMTの決定事項】

◎第4回講座の反省点(講座開催日:平成22年3月7日(日))

- ・回を重ねるごとに、参加者数、参加者の職種、年齢幅が拡大しており、会自体の認知が浸透してき

ている。県外からも取り組みについての講演依頼がきている。

- ・時間的余裕がないことで、細かな情報を伝えることが出来なかったり、グループワークの発表の時間が少なかったなどの反省点が挙げられた。また用語の使い方など、一般の方には分かりにくい箇所もみられた。

◎今年度からについて

<講座の名称変更>

- ・「くまもと失語症会話パートナー認定講座」に決定

- ・ロゴマークも作成も検討

<方向性>

- ・今年度からは実際のパートナーを養成する目的で講座を開催していく。市外、郡部への啓発出張講座も考案したが、今年度はパートナー養成の基盤作りに集中していくため、来年度以降に持ち越し。

<具体案>

- ・「くまもと失語症会話パートナー認定講座修了書」を発行する。発行先については未決定。

【開催案】

- ・年に1回、2日連続で行う(例:土日の2日間) 2日間連続して受講した方に修了書を発行する。

【プログラム】

今後検討。

【メンバー構成の明確化】

- ・現時点での構成メンバー数: 13名
- ・現在は連絡や郵送などが、個人に負担が偏っていたため、会長、副会長、会計、広報: ①案内係②集計・分析係、会員に組織化し、役割を分担していく。

参加者増加傾向

実際にボランティア養成にむけて活動を行う

7) その他

- ・熊本県言語聴覚士会に残りたいという会員の方はどうするか(大塚理事) →受け入れていく(理事全員)

・言語聴覚の日について

日程は9月1日でなくてもよいとのこと

→9月周辺の日曜日

ワーキンググループを作って対応してはどうか

(小菌会長)

(代表 事業部部長 山本理事 実行委員長 大塚理事)

内容については、ワーキンググループに一任してほしい (大塚理事)

定期的に経過を理事メールで報告していく (大塚理事)

次回理事会予定 7月 2日 (金)

菊南病院 言語療法室

発行：熊本県言語聴覚士会

事務局：菊南病院 (Tel.096-344-1711)

〒861-5513 熊本市鶴羽田町 685

広報部：宇賀岳病院 (Tel.0964-32-3111)

部長：平ノ上 隆康

編集：メディカル・カレッジ青照館

(Tel.0964-54-2211)

編集責任者：小堀 晶弘